

本の紹介



『戦国日本の軍事革命 -鉄炮が一変させた戦場と統治』

16世紀中期に伝来した鉄炮は、砲術師・鉄炮鍛冶・武器商人により国内に広まると、戦場の光景を一変させた。信長は、検地によって巨大兵站システムを整え、天下統一へと邁進した。統治のあり方まで変えた「革命」の本質を描く。

単著／藤田 達生(教育学部・教授)
定価／840円(税抜)
発行／中央公論新社
頁数／222ページ
ISBN／978-4-12-102688-0



『江戸時代の熊野街道と旅人たち』

熊野地域に残る尾鷲組大庄屋文書や若山家善根宿納札、また全国各地に伝わった道中日記などの古文書の調査成果に基づき、江戸時代の熊野街道を歩んだ名もなき旅人たちの様々な姿と、彼らを迎えた村々の実像を蘇らせた。

単著／塚本 明(文学部・教授)
定価／2,900円(税抜)
発行／塙書房
頁数／286ページ
ISBN／978-4-8273-3125-7



『実践!忍術の手引き』

「忍術」という奇抜な術を想像しがちだが、実際は地道な鍛練によって培われたサバイバル術だった。「忍者の心得」「忍び込む極意」「情報を操る」「人間を識る」「自然や状況を識る」の各章からリアルな忍術を解き明かす。

単著／山田 雄司(文学部・教授)
定価／1,400円(税抜)
発行／BABジャパン
頁数／204ページ
ISBN／978-4-8142-0445-8



『忍者とは何か 忍法・手裏剣・黒装束』

黒装束で忍者刀を携え人並みはずれた力をもつ。我々が「忍者」として想像する姿は、歴史上に存在した実際の「忍び」とは異なる。それではなぜ現在のイメージになったのか?忍者の虚像を通史的に読み解く。

単著／吉丸 雄哉(文学部・教授)
定価／2,400円(税抜)
発行／KADOKAWA
頁数／470ページ
ISBN／978-4-04-703623-9



『日本数学教育史研究 下巻』

本書は、昨年出版された上巻の続編であり、昭和の初年から30年代までの初等中等数学教育の変遷を描いた学術書である。特に、戦後占領期の数学教育には不明な点が多かったが、在米史料を駆使して、その様相を明らかにした。

単著／上垣 渉(名誉教授)
定価／20,000円(税抜)
発行／株式会社 風間書房
頁数／918ページ
ISBN／978-4-7599-2443-5



『歴史遺産が地方を拓く 紀伊半島の文化財』

「紀伊半島の文化財」では、紀伊半島の歴史的特質を考察し、「紀伊半島の創生」は、歴史遺産を活用した地方創生のあり方を問う。三重県・和歌山県・滋賀県の大学・博物館・教育委員会の研究者による共同研究の成果である。

編著／藤田 達生(教育学部・教授)
定価／4,500円(税抜)
発行／清文堂出版
頁数／238ページ
ISBN／978-4-7924-1511-2



『歴史遺産が地方を拓く 紀伊半島の創生』

「紀伊半島の文化財」では、紀伊半島の歴史的特質を考察し、「紀伊半島の創生」は、歴史遺産を活用した地方創生のあり方を問う。三重県・和歌山県・滋賀県の大学・博物館・教育委員会の研究者による共同研究の成果である。

定価／4,000円(税抜)
発行／清文堂出版
頁数／183ページ
ISBN／978-4-7924-1512-9



『キリシタン語学入門』

共著／川口 敦子(文学部・教授)
定価／2,500円(税抜)
発行／八木書店
頁数／168ページ
ISBN／978-4-8406-2245-5



『民法学の伝統と新たな構想』

共著／名島 利喜(文学部・教授)
定価／22,000円(税抜)
発行／信山社
頁数／610ページ
ISBN／978-4-7972-6098-4



『音韻理論と音韻変化 (最新英語学・言語学シリーズ19)』

共著／服部 範子(文学部・教授)
定価／3,500円(税抜)
発行／開拓社
頁数／248ページ
ISBN／978-4-7589-1419-2



『芸術教育がひらく可能性 [芸術による教育]思想のバースペクティブ』

芸術教育を包括的かつ原理的に論じた書は少ない。本書は、人間生活のあらゆる局面に多面的な芸術の機能を働かせる「広義の芸術による教育」と「ポリアフォニーとしての芸術教育」の思想を軸に芸術教育論を展開している。

単著／山田 康彦(教育学部・特任教授)
定価／3,000円(税抜)
発行／塙書房
頁数／270ページ
ISBN／978-4-89380-506-5



『地球の未来木 ~分子レベルのリサイクル~』

森林は、壮大な年月をかけた地球生態系に最適化されている。生態系を攪乱しない未来社会の設計図…それは、森林、樹木、そしてそれを構成する分子に書き込まれている。森林を起点とする新しい持続的社會について考える。

単著／松岡 正光(名誉教授)
定価／1,000円(税抜)
発行／地球の未来木発行プロジェクト
頁数／118ページ
ISBN／978-4-600-00933-5



『風土記考説』

風土記について、総論・常陸國風土記・出雲國風土記・播磨國風土記・逸文に章を分かって考究した論考集である。今後、文庫本と註解書の刊行を念頭に置いており、その基礎作業的側面を有する論考集としてある。

単著／廣岡 義隆(名誉教授)
定価／12,500円(税抜)
発行／和泉書院
頁数／622ページ
ISBN／978-4-7576-1031-6



『理系学者が読み解く記紀神話 記紀神話は日本の古代史を物語る』

「記紀神話は史実としての資料的価値は全くない」と文系の歴史学者は説く。本当にそうであるのか?私は理系科学の知識を駆使し、古事記・日本書紀だけでなく日本および華夏の古代史書を総動員して緻密に論考した。通説を問い、通説に真っ向から論理的に反論したのが本書である。

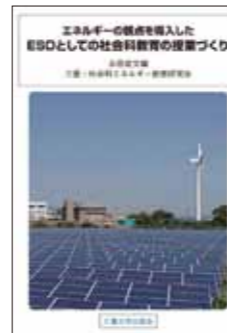
単著／宮崎 照雄(名誉教授)
定価／2,400円(税抜)
電子書籍 1,200円(税抜)
発行／幻冬舎
頁数／662(電子書籍706)ページ
ISBN／978-4-344-93940-0



『忍者学研究』

読売新聞伊賀版・三重版連載の「三重大学!忍び学でござる」を再編集し、各学部・研究科の教員および修生が、それぞれの専門の立場から忍者の実態に迫った『忍者学講義』に続く、注目の第二弾。

編著／山田 雄司(文学部・教授)
定価／1,600円(税抜)
発行／中央公論新社
頁数／240ページ
ISBN／978-4-12-005499-0



『エネルギーの観点を導入したESDとしての社会科教育の授業づくり』

三重・社会科エネルギー教育研究会の活動の一環として、エネルギーの観点を導入して様々な社会問題を探究することで、学習者の行動の変革を促すESDとしての社会科教育の授業づくりの考え方と授業実践を提案した。

編著／永田 成文(名誉教授)
定価／1,200円(税抜)
発行／三重大学出版会
頁数／128ページ
ISBN／978-4-903866-60-4



『ホホジロザメ』

共著／関 俊一(教育学部・教授)
定価／1,800円(税抜)
発行／福音館書店
頁数／40ページ
ISBN／978-4-8340-8668-3



『青空のむこうがわ』

共著／和田 崇(教育学部・准教授)
定価／1,800円(税抜)
発行／風媒社
頁数／301ページ
ISBN／978-4-8331-1149-2



『スクールティーチャー 一教職の社会学的考察』

共訳／織田 泰幸(教育学部・教授)
定価／4,000円(税抜)
発行／学文社
頁数／384ページ
ISBN／978-4-7620-3107-6



三重大学の教員が執筆している本の一部です